

貧血大国・日本

放置されてきた国民病の原因と対策

● 本書概要

日本が「貧血大国」であることをご存知だろうか。貧血は、主に体内の鉄が欠乏することによって生じるが、鉄は人間の体にとって極めて重要な栄養素。このことから、世界各国では鉄の欠乏を予防する対策がとられている。一方、日本では「ほぼ無策」の状況が続いている。特に妊婦の貧血は深刻で、その数は先進諸国の平均値を大きく上回る。女性の社会進出が加速し、出産の高齢化に拍車がかかるなか、貧血の問題を放置したままにしておくとうるさくなるか――。健康面への影響は――？

世間であまり認知されていない貧血の実態、危険性、対処法など、これまで見過ごされてきた問題の現状を概観し、その対策を綴る。

◆ 著者プロフィール ◆

山本佳奈 (やまもとかな)

1989年滋賀県生まれ。医師。私立四天王寺中学・高等学校卒業。2015年3月、滋賀医科大学卒業、医師免許取得。同年4月より福島県の南相馬市立総合病院に勤務。大学時代から、医学博士・上昌広氏の下で貧血を中心に医療全般について研究している。

問い合わせ先
〒112-8011
東京都文京区音羽1-16-6
(株) 光文社 新書編集部
担当者：小松現 (こまつ・げん)
TEL (03) 5395-8289
FAX (03) 5395-8248
gen-k@kobunsha.com

女性の社会進出が加速する今、
女性はもちろん、パートナー・高齢者・
そして政策立案者にも考えて欲しい問題です。
その実態・危険性・対処法を分かりやすく解説！

